

日本医業経営コンサルタント連盟 設立趣意書

公益社団法人日本医業経営コンサルタント協会（以下「協会」という。）は、昨年11月で設立30年を迎えております。これもひとえに関係各位のご支援の賜物と存じ上げております。

協会は、医療・保健・介護・福祉に関する調査研究等を行い、医業経営に係わるコンサルタントの水準の確保と職務能力の向上を図るとともに、医業の社会公共性を経営面から支援活動することにより、医業経営の健全化・安定化に資することをもって、より良い地域社会の発展に貢献し、健康で文化的な国民生活に寄与することを 目的に活動しております。

この30年間に協会は、2013年2月に厚生労働省の医政局長はじめ6局長から 医療分野全体の雇用の質の向上のため、行政が行う取組への協力・支援を公式文書で求められて以来、医療勤務環境改善、持分なし医療法人への移行支援をはじめとして、自治体医療機関の増改築へのプロポーザル参画などの事業を推進してまいりました。近年では、諸先輩の活動努力により自治体立病院の建替えプロポーザルにおいて「認定登録 医業経営コンサルタント」の名称が付記されるようになってまいりましたが、全てではありません。「認定登録 医業経営コンサルタント」の認知度と社会的地位の向上については未だ道半ばであると認識しております。

私たち日本医業経営コンサルタント連盟は、何れかの政党に偏ることなく、協会が掲げる理念、政策の実現、「認定登録 医業経営コンサルタント」と「協会」の認知度及び社会的地位の向上に理解を示していただいた政党、政治家の皆様を支援することによって、結果として社会貢献になるものと信じ、立法府に対して長期かつ継続的な働きかけをすることを目的に「日本医業経営コンサルタント連盟」として設立する ものであります。

令和3年6月9日

日本医業経営コンサルタント連盟

会長 木村 光雄